

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	ボランティアコーディネーター設置事業					
事業の概要	当町における高齢者人口は年々増加し、多くの介護ボランティアの協力の下福祉事業が行われている。今後においても高齢化が進むことは明白で、このような協力や活動を推進することは必要不可欠である。このため、当町においてもボランティア活動を支援するとともに、各地域の関係機関・団体とのネットワークを強化し、自主性・自発性・自己実現性を基にしたボランティア活動の推進を行うものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	1,959	本年度事業費	1,959	交付金交付額	979
事業の必要性	今後、本町において高齢化が進むことは明白であり、このボランティアの協力や活動を推進することは必要不可欠である。本町においては、ボランティア活動を支援するとともに、各地域の関係機関・団体とのネットワークを強化し、自主性・自発性・自己実現性を基にしたボランティア活動の推進を行うものである。					
事業の有効性	ボランティア活動を支援することで、各地域の関係機関・団体とのネットワークを強化し、自主性・自発性・自己実現性を基にしたボランティア活動の推進を行うことができる。					
事業の効率性						
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 本事業の内容や必要性を理解してもらうことで、町民の積極的な事業参加に資するものである。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。